

### 第3回 高田地区中心市街地活性化協議会準備会 議事要旨

日 時：平成 20 年 2 月 25 日（月） 13:30～14:50

場 所：上越商工会議所 3 階大会議室

出席者：別紙名簿参照（出席者 27 名（代理 4 名）、服部氏、市担当職員 6 名、会議所担当者 5 名）

#### 議事要旨

##### 1. 会頭あいさつ

中心市街地活性化基本計画について、重要な問題であるので、精力的に審議してもらいたい。国から早急に認定を受けて、一日でも早く活性化に取り組んでいかなければならない。旧高田共同ビルについては、地権者の理解を得ながら、駐車場も含めて再開発事業として進めていきたいので、市にも協力を願う。地元も戦略補助を活用して効果的に事業を進めていくことを検討している。

##### 2. 協議会会長あいさつ

前回の協議会で基本計画への理解は得たと考えている。民間、行政の役割や優先順位をつけていく必要があると考えているので、それを中心に取りまとめていきたい

##### 3. 検討内容及び意見交換

上越市高田地区中心市街地活性化基本計画（案）の説明

上越市中心市街地活性化推進室：折橋室長から、資料 1 に基づき説明。

上越市高田地区中心市街地活性化基本計画（案）の主な事業の取り組み状況について報告

上越商工会議所：渡部次長から、資料 2 に基づき説明。

高田地区について意見交換（：委員、：上越市担当者、：服部アドバイザー）  
佐藤会長より、自分たちで実行していかなければならないものと行政に要望するものを区別して、協議を進めていただきたい旨発言があり、協議を開始した。

本町 4 丁目はイレブンビル事業、5 丁目は旧高田共同ビル事業で進んでいるが、3 丁目には雁木通りプラザや第四銀行高田支店がある。雁木通りプラザは、現在イベント事業の重要な場所として活用しているが天候に左右されてしまう。また、第四銀行高田支店については、先日地元関係者で内部を見学し、活用方法を検討していくことになった。地元としては、活用策を検討していくつもりでいるが、行政としてはどのように考えているのか？

人通りの多い高田駅～本町 5 丁目までつなぎ、更に 4 丁目、3 丁目へと賑わいをつなげていきたいと考えているので、にぎわい創出、人通りを増やす事業があれば、提案をいただきたい。第四銀行高田支店については、平成 21 年 6 月に移転完了、新規開店となるため、平成 20 年度に利活用検討委員会を地元と共に設けていきたい。予算は計上済みである。

前回、数値目標が低い・マイナスということに意見があったが、前回の発言者は今回の提示数値をどのように考えたか？

現状数値を近々に調査し、現状に即した数値を基に、各事業の予想効果数値をつみあげていくという説明を聞いて納得した。基本計画完成時には、良い目標数値がでてくることを期待している。

基本計画を国に認めてもらわなければならない。そのためには、もっと事業計画を具体的にしないとイケないのではないかな？

具体的に掲載することは事業者との兼ね合いもあるため難しい。しかし、ベースがなければ、現状~目標数値は示すことができない。再開発事業が確かな動きをしていることは、事業が推進されるということと国から好印象を得られる。しかし、再開発事業だけでいいということではない。街としての活性化が真の目標であるので、個店がどのように取り組んでいくのか、地域あげてのイベントへの取り組み、マンション住民への支援策等、関係して事業展開していく必要がある。2核1モールの内の一つが欠けたので、旧高田共同ビルに取り組むが、大和のところもそのようになってはイケない。イレブンビルについても、ビル地権者・大和・商店街が確かな動きに取り組んでいく必要がある。事業提案した後、主体者が実行していくことが求められる。目標に近づけるように取り組んでもらいたい。

事業は具体的になってきていると思う。

浄興寺を地域の資産として大切にしていきたいが、来訪者からは分かりにくいとの意見もあり、サインが必要と思う。また景観がきちんとなっていないので、浄興寺大門通りの景観、道路整備等が必要と考える。

現在、検討事業として検討を進めている。地元の意見を聞きながら、あるべき姿に近づけていきたい。道路整備の予定は無いが、検討事業の結果を見て、検討していきたい。地権者の問題や、誰が実行するのかまで踏み込んでいく必要がある。地元と協議を進めていきたい。

基本計画で前面に特色を出していきたい。

数値目標はこれでいいのかと思う。富山市長や青森の加藤氏の話聞いたが、現実を認識した上で、夢を持てた。当市の計画でも夢の部分をも市民にアピールするスローガンのようなものがあつた方がいいのではないかな？このままでは認定をもらえるかが不安である。

全体が網羅されているが、どこを一番やりたいのかが分からない。また分かりやすい言葉も必要。

昔の街へ元通りにすることは先ず不可能であろう。歩いて楽しい街、高齢者など住みやすい街が目指す姿ではないかな。

街の地価は高いときの半分以下に下がっている。逆に、中心市街地外の造成地は上がっている。

特色ある街を印象付けるものが必要である。

全部の事業を同時に進めることは不可能である。優先順位をつけていく必要がある。

市民に訴求していくため、ビジュアルで見える形を示し、まちづくりを打ち出していく必要がある。

ターゲットを定めない商売はない。ターゲットを設定して、向かう層を明確にして取り組んでいかなければまちづくりにつながらない。地域外から来てもらうための方策として、道や交通機関も含めた総合的な計画にしていきたい。

単純に郊外型大型店を街中へ持ってくることは良いまちづくりではない。歩いて楽しく暮らせるまちづくりにするために、コンセプトをまとめてもらい、社会に沿ったまちづくりを進めてもらいたい。高齢者が住みやすい街としていくことが

いいと思う。

行政には、市街地に 500 台程度の無料駐車場や街中への老人ホームの誘導、エコの街、空店舗を憩いのスペース等で大いに利用する等検討してもらいたい。このままでは、どのような街になるのかが分からない。

基本方針でコンパクトシティを作っていくコンセプトを示してある。高田は 2 核 1 モールの方針である。夢は必要であると思うが、5 年で実行できる事業という枠があるため、まずは実行できる事業を載せている。認定後に、次のステップへの検討に移らせてもらいたい。

協議会委員や地元で事業を考えて、行政に提案していくことが重要である。

人口の変移を調べ、住みやすいまちづくりに絞って取り組んでいくことが必要。車を待ちに入れないないということも工夫すればできる。

まちづくりには時間がかかる。旧高田共同ビルも活性化に協力していくことになるが 4 年はかかる。自分たちの仕事を確実に、具体的に進めていくことが重要である。

協議会で生活しやすくなるルールを作っていくことも必要ではないか。例えば、税金を安くすれば駐車場を無料にする人もいる。総花的ではなく、集中的に取り組む必要がある。2 つの中心市街地が必要なのか？

本町関係者から話があったが、浄興寺通り周辺を線から面へと捉えていくまちづくりを検討しているので、このようにエリアを面として捉えて取り込むことがポイントとなる。

マーケットが減少している状況で、市街地のターゲットを絞り込むことは難しい。但し、エリアを決めて、エリア内のターゲットを絞り、サービス・商業を提供していくことは可能であろう。

街並みを利用して、木造家屋を提供していくこともできるのではないか？

滞留時間を増やすために、街の中でも事業が必要になってくるので、行政と地元が中心となって、実行できるレベルまで押し上げてもらいたい。

本部も認定に苦慮している。協議会で基本計画を押し上げ、早く国との協議へ進めるように、協議会を進めてもらいたい。

佐藤会長より：基本計画案は全体を網羅した活性化計画が盛り込まれており、ほぼまとまったと思う。意見を早くまとめ、反映させた計画を次回までにまとめてもらいたい。協議会は承認をする総会の場にし、事業は各プロジェクト会議で薦めていく方法を取っていきたい。また、幹部で協議を進めることを了承してもらいたい。国への提出が迫っているが、まちづくりは待っているような状況ではない。市には基本計画を練り直してもらい、特色を打ち出してもらいたい。

委員一同、会長の提案を了承し、議事を終了した。